

# ほたる

令和元年8月30日 発行

## 目指す児童生徒像

- すすんで学び、考える子ども
- みんなとなかよくする子ども
- 明るく元気な子ども
- 自分のことは自分でする子ども

## 元気に活動しています

37日間の夏休みが終わり、8月26日には子ども達が元気に登校してきました。夏休み中は、ご家族でお出かけをしたり、お祭りに行ったり、学校のプールを利用したり、家の手伝いを頑張ったりと有意義に過ごしたことと思います。

さて、1学期も残すところ1か月余りとなりました。9月には各学部で修学旅行や宿泊学習、校外学習など子ども達が楽しみにしている大きな行事も予定されています。これらの活動が子ども達にとって経験を広げ、実り多いものになるようにしていきたいと思えます。また、暑さがいったん落ち着いた感じはあるのですが、例年では残暑が厳しい日も見られます。子どもたちが元気に学習に取り組めるよう、水分補給を心がけてまいりますので、ご家庭でもご協力をお願いします。



## 支援部より

8月22日（木）専門性向上研修会を開催しました。みやぎ心のケアセンター副センター長の福地成氏を講師にお招きし、「不安をかかえる子どもたちへの対応～発達障害がある子どものこだわりや混乱について考える～」と題し、ご講演いただきました。福地先生は青森と北海道にて小児科医として勤務後、宮城県にて精神科医として精神科救急、地域精神保健に従事され、2008年からは宮城県で初めての児童精神科病棟の運営に東北福祉大学せんだいホスピタルで取り組み、2011年12月より震災復興に特化した「みやぎ心のケアセンター」に勤務され、宮城県を中心として被災地の訪問、各種の普及啓発活動、地域支援者へのスーパーバイザーなどを行っていらっしゃいます。

講演後のアンケートでは「今後の指導に大変参考になった。」

「なかなか聞けないような薬の話が聞けてよかった。」「事例を交えた内容で分かりやすかった。」など、とても分かりやすく参考になったとの感想が多く聞かれました。大変お忙しい福地先生ですが貴重なお話をお聞きすることができ充実した研修会となりました。



## 開校記念日について

本校は昭和53年4月1日、宮城県立金成養護学校として独立開校しました。その翌年の8月30日には、現在の地に校舎が建てられました。この日を記念し、本校では開校記念日としています。

## 「高等部3年 進路移行支援会議」開催

夏季休業中の7月23日に、上記の会議を開催しました。年2回開催予定のうちの第1回目の会議でした。



今年は高等部3年生にとって、進路を決定する大切な年になります。そのため、早い時期に関係諸機関の方々に、生徒一人一人についてより詳細に理解して頂く必要があるのでこの会議を開催しています。

全体会では、ハローワーク、あしすと、あらいぶ、ポレポレ、ころんぶすの方々からそれぞれの事業所説明をして頂きました。分科会では  
就労希望者については、ハローワークやあしとから求職登録や職業相談等につ

いて、福祉就労希望者については、担当保健師や福祉係の方から「障害福祉サービス受給者証」について、制度の概要やその取得方法等について説明して頂きました。

今後は、後期の現場実習を経ながらその成果と課題を踏まえ進路決定に向かって行くこととなります。



## 「進路指導研修会」開催

夏季休業中の7月26日に、進路指導部主催の上記研修会を開催しました。保護者の皆様への進路に関する情報提供を目的としたもので、3年前から新たに始めた研修会です。当日は、教職員・保護者あわせて約50名の参加がありました。

講師は、ラポラーレ登米係長兼サービス管理責任者の白土豪さんをお呼びしました。主な内容は、ラポラーレ登米の施設紹介や障害福祉サービスの概要について、教師や保護者に求められること等、約1時間半に渡り示唆に富むお話を沢山して頂きました。

講話の中では、豊富な資料の解説のみならず、時折参加者に対して多くの問いが投げかけられたりするなど、双方向の質疑応答の中で、実に多くのことを学ぶことができた研修会でした。若干ですが、そのときの資料の残部がありますので、ご希望の方はお声掛けください。